

平成 30 年 3 月 19 日 新国立競技場整備事業に
係るアドバイザー会議（第 3 回）配付資料

新国立競技場整備事業に係るアドバイザー会議（第 3 回） 議事次第

日時：平成 30 年 3 月 19 日（月）13:30～15:30

場所：日本スポーツ振興センター 3 階大会議室 1

1 開 会

2 議 題

（1）工事の進捗状況について

（2）報告事項について

（3）その他

3 閉 会

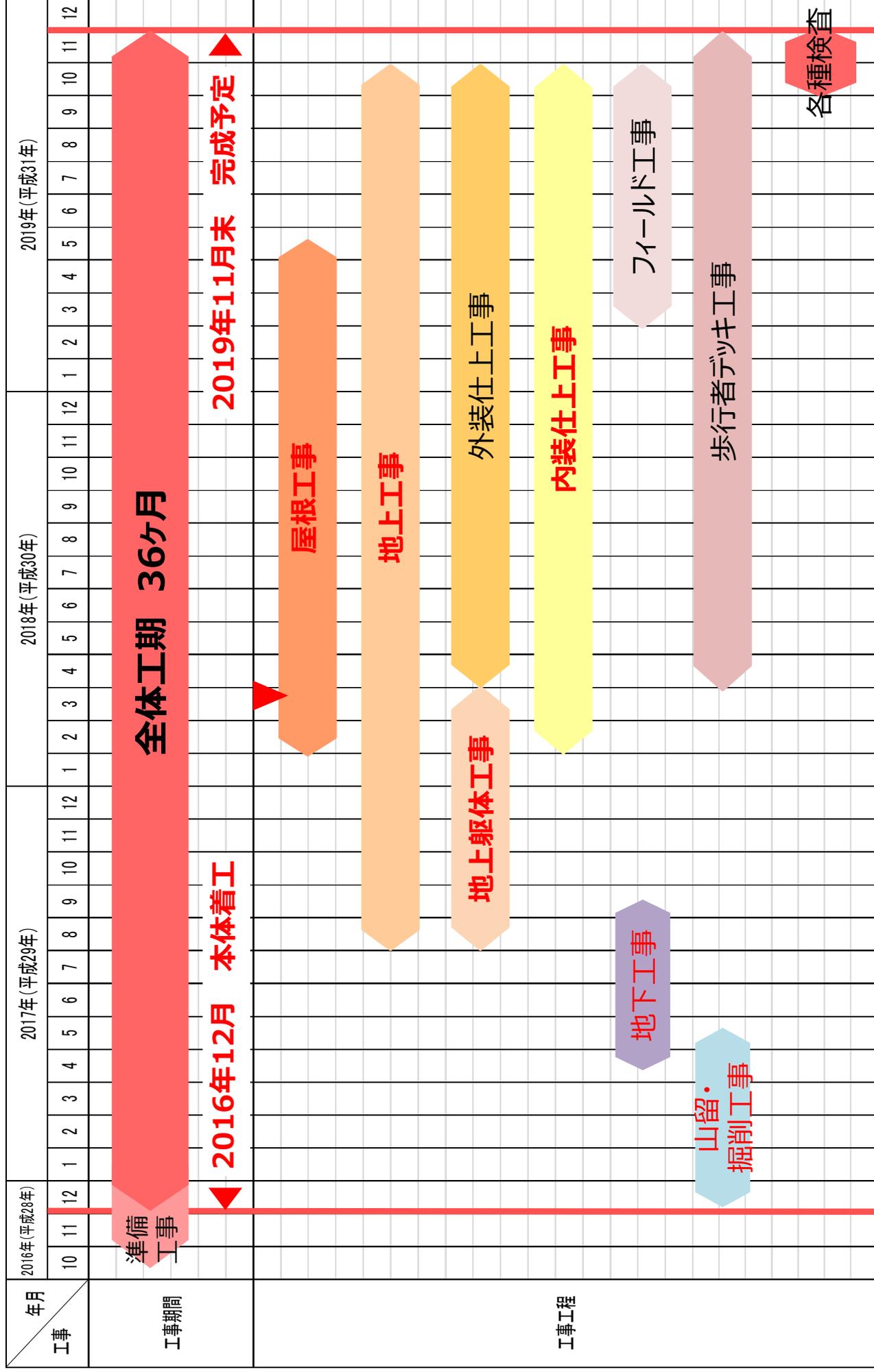
○配付資料

資料 1 現場の進捗状況の説明資料

資料 2 デッキ形状の見直しについて ※新国立競技場整備計画再検討
のための関係閣僚会議（第 8 回）にて JSC から説明した資料

資料 3 デッキ形状見直しの実現に向けた検討

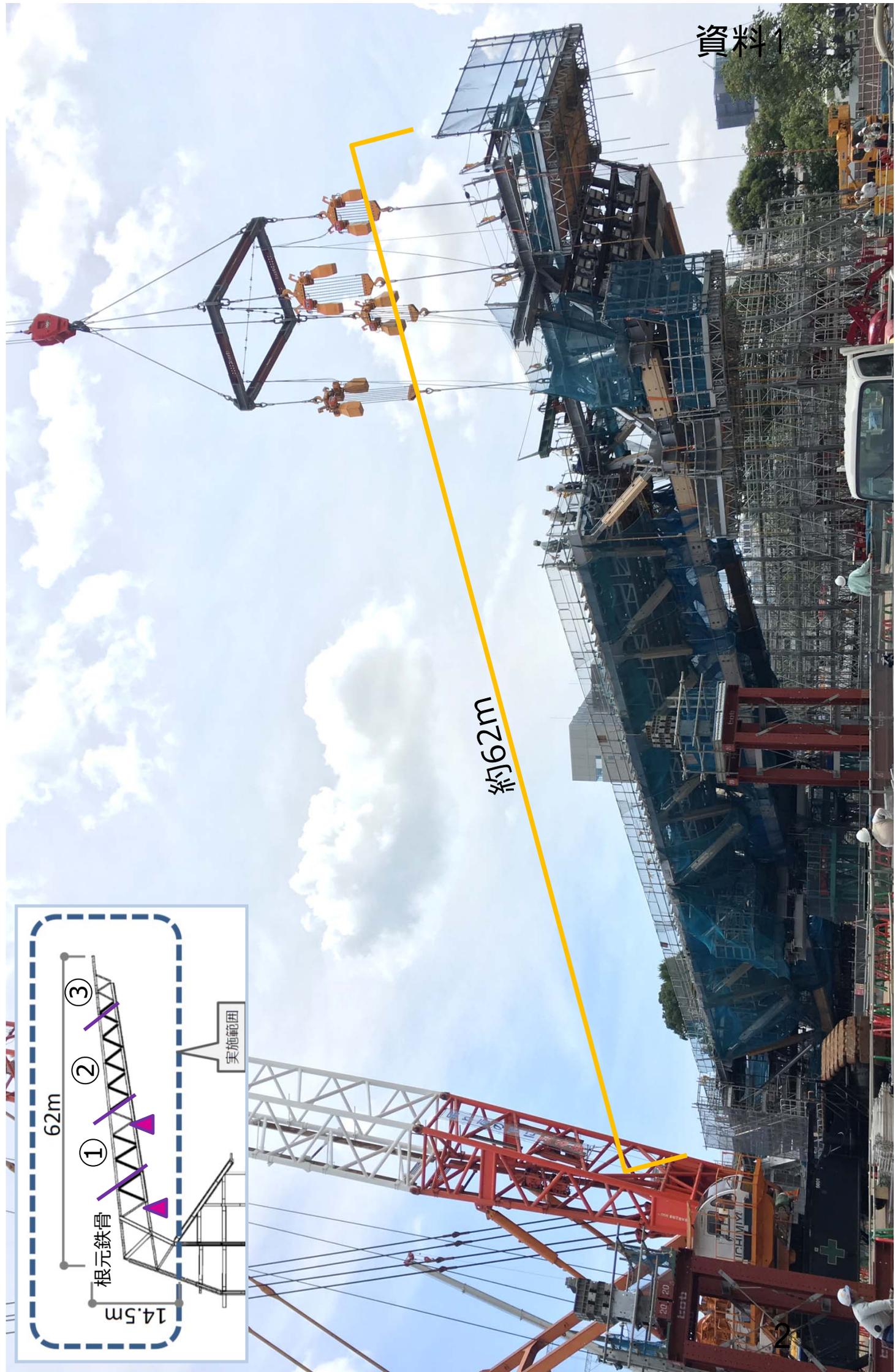
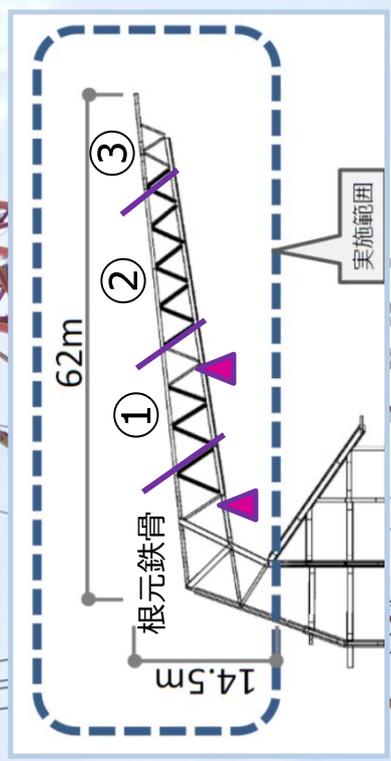
参考資料 第 2 回アドバイザリー会議の資料 3（再掲）



※本工程は、現時点における予定です。

工事進捗状況 屋根鉄骨実大施工検証 (平成29年8月末に主な検証終了)

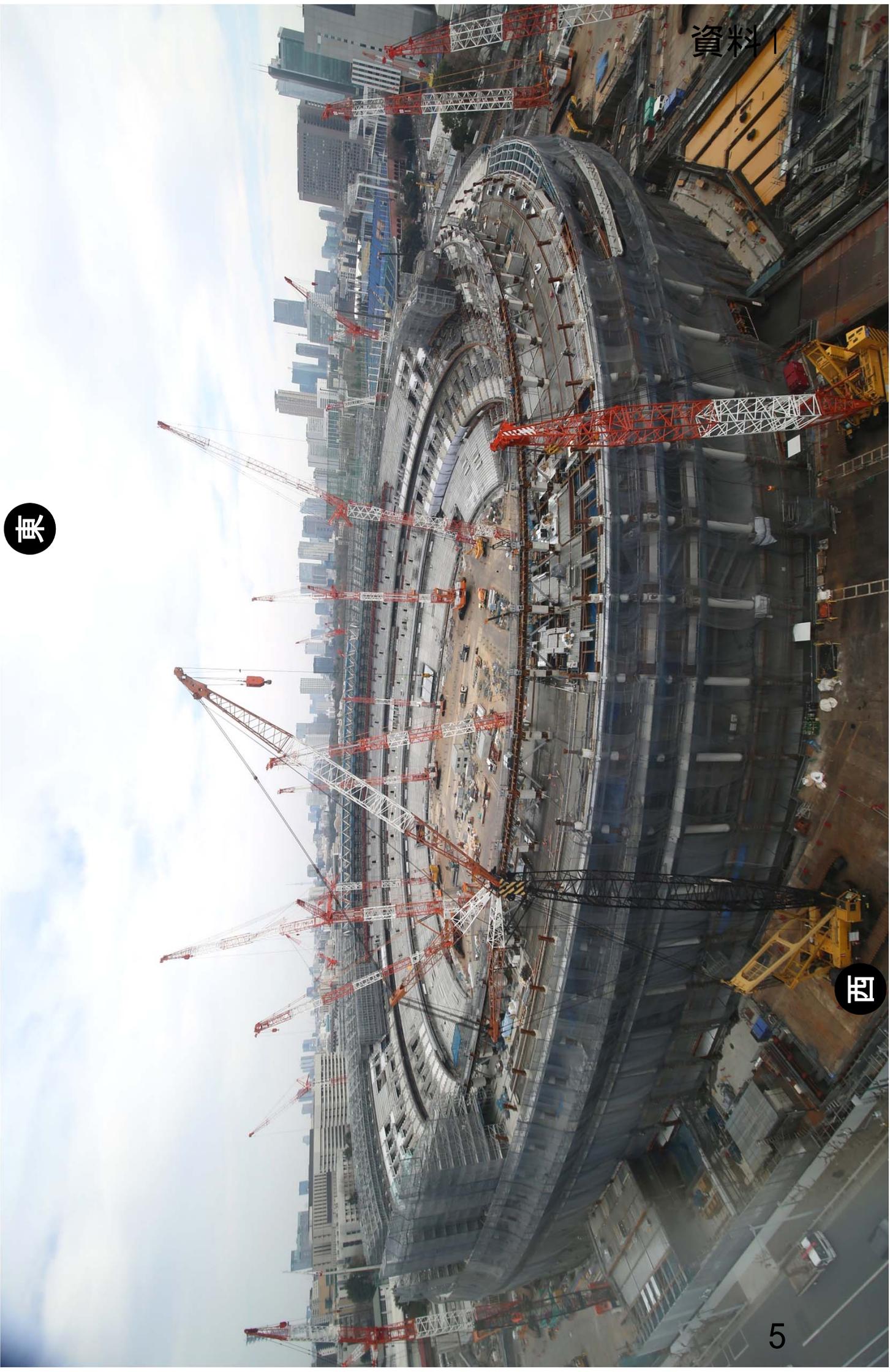
資料1



約62m

東

資料1



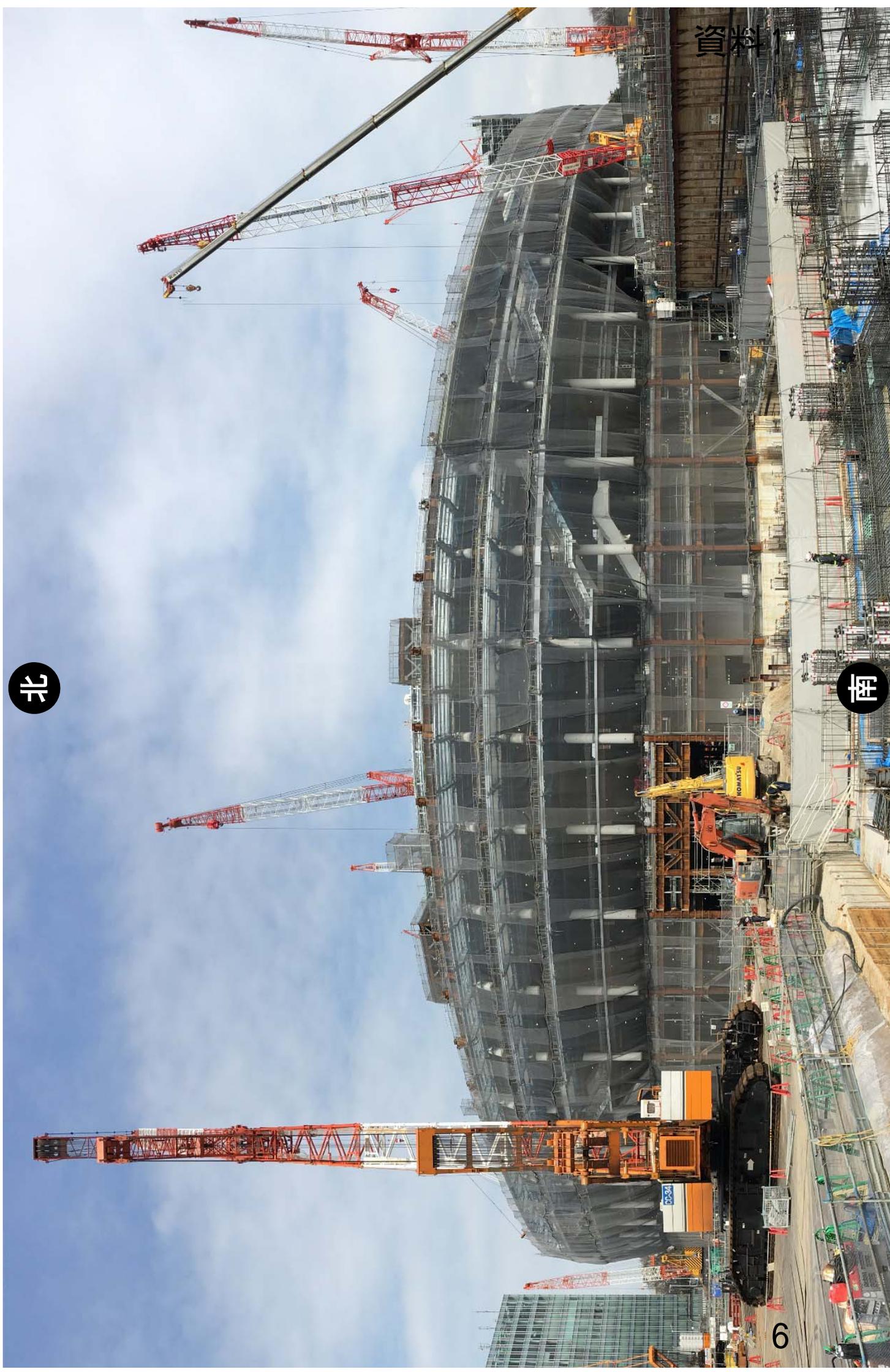
西

工事進捗状況 南側俯瞰 (平成30年2月)

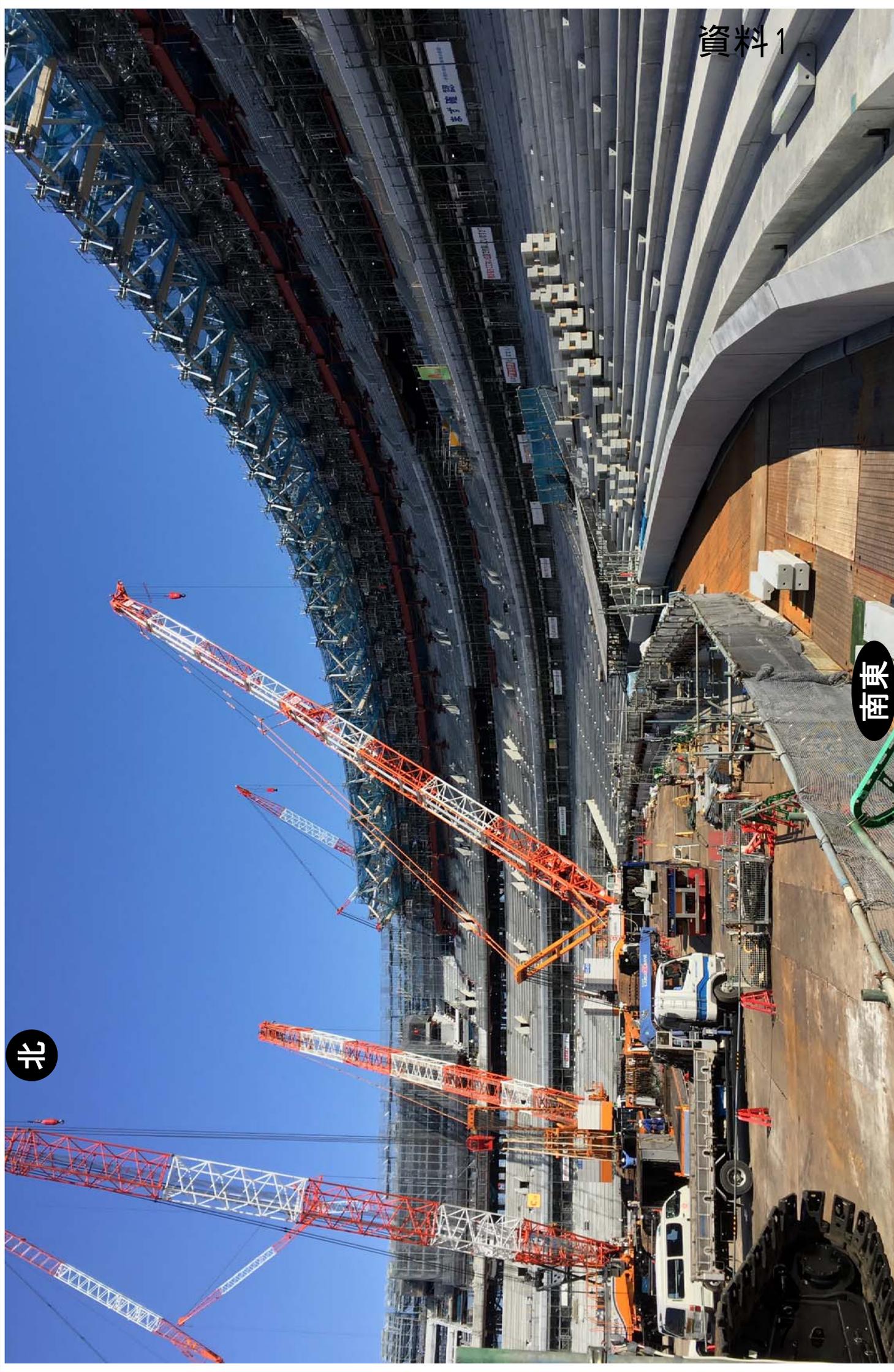
北

資料1

南



工事進捗状況 スタンド俯瞰（平成30年2月）



工事進捗状況 屋根根元鉄骨地組状況（平成30年2月）



資料1

工事進捗状況 屋根根元鉄骨建方状況（平成30年2月）



資料1





①現在の計画

東京2020大会時の
放送車用スペースが
確保できない。



②見直し案



③大会時の計画案

【対応の方向性(都市計画の変更が前提条件)】

- ・組織委員会からの要請をうけて、第Ⅱ期事業竣工時には、地表面を平坦な状態で整備。(事業費の上限を超えない範囲での整備)
- ・大会終了後に、せせらぎや植栽等をつくる「二段階整備」を実施。

→上記方向性の妥当性については、アドバイザリー会議において確認済。

【実現に向けた今後の課題】

- ・二段階整備の各整備時における役割分担
- ・事業費の精査

デッキ形状見直しの実現に向けた検討

主要な検討項目	検討内容等
①敷地の変更	<ul style="list-style-type: none">・ 地上部の公園部分をスタジアム敷地から除外・ 連絡階段及び地下機械室に係る敷地を別途設定・ インフラ関連の調整、雨水流出抑制槽の再配置
②法令への適合性	<ul style="list-style-type: none">・ 緑化率、有効空地等の基準への適合性確保
③建築計画の見直し	<ul style="list-style-type: none">・ 各種シミュレーション等による検証<ul style="list-style-type: none">◇ 避難退出シミュレーション◇ 観客の滞留シミュレーション◇ スタジアムの風のシミュレーション◇ 敷地周辺の風洞実験◇ 排煙シミュレーション・ ユニバーサルデザイン（エレベータ追加）・ 外苑西通りの環境改善（緑地計画の見直し、せせらぎ・記念作品の再配置、落書き防止対策）
④二段階整備	<ul style="list-style-type: none">・ 大会時の具体的仕様（アスファルト舗装等）を決定（第1段階）・ 大会後にせせらぎ等の公園を整備（第2段階）